

退任・就任の挨拶

会瀬学区内関係者役員に変更がありましたのでご紹介いたします。

退任のご挨拶

【敬称略】

前コミュニティ推進会会長

柴田和彦

このたび、平成31年度学区総会を契機に本会長職を退くことになりました。

平成6年4月以降、24年に亘り微力ながら地域の活性化や環境美化等、地域福祉の向上に日々の活動できたのも役員の方々、地域のみなさまのご協力ご援助のお蔭と衷心よりお礼申し上げます。後任の会長には、須田育愼氏が就任いたしますので、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



コミュニティ推進会
会長 須田 育愼

会瀬学区コミュニティ推進会の会長と会瀬交流センターの運営委員長を務めさせていただくことになりました。微力ではありましたが皆様の協力により事務局長及び事務長を経験させていただきました。ありがとうございました。

これからは、広い視点で、地域住民とのふれあいを深めながら、地域に密着したコミュニティ事業及び福祉活動を展開し、各種団体・組織関係者とも連携しながら、交流センターを活動の拠点に、人の和と活動の輪を広げたいと思います。今後とも皆様のご協力ご支援をよろしくお願いたします。



コミュニティ推進会
事務局長 和地 朝雄

この度、会瀬学区コミュニティ推進会の事務局長を務めさせて頂くことになりました。これまで6年間、会瀬学区福祉協議会にて、事務局の補助と配食サービスを担当しておりませんが、学区コミュニティについては、殆んど知らないことばかりです。

つきましては、学区の皆様のご指導を頂きながら、学区コミュニティ推進会のために、微力ながら一生懸命努めますので、皆様のご協力とご支援を何卒よろしくお願申し上げます。

新任・役員紹介

【敬称略】

- 学区コミュニティ推進会
常任副会長 関 幸夫
- 学区社会福祉協議会
副会長 小室 裕一
- 福祉区連絡員 2丁目 藤田 昌弘
- サロン虹代表 皆川 悠美子
- 民生・児童委員 倉品 三郎(平成30年12月)



ふるさと会瀬から

会瀬旧述 その二 会瀬浦の磯と岬

舟入川河口から東に約100m先の岩は、七夕磯の入り口の意味から「大門崎」(おおもんざき)と呼ばれている。大門崎の左に海底が平らな畳磯があり、その先にそり立った大きな岩がある。鵜が休息する岩から鵜島(うしま)といわれた。鵜島の先は「しま」といわれる磯が扇状に広がり、先端の大きな二つの岩が夫婦石である。

会瀬浦を囲んでいる北側の岬は伊勢崎(いせざき)であり、磯と伊勢崎に囲まれた入り江が中江(なかえ)である。伊勢崎の先端の小高い所に「津の明神」の社があり、周囲には、松の老木があり、幹も枝も地面を這うようにして海に突き出している。社の上方の丘からは見晴らしがよく、眼下に会瀬浦や七夕磯を一望でき、はるか南には磯崎の岬まで見える。左側の下方には初崎の磯が列状に沖に向かい、波間に見え隠れしている。

伊勢崎の北側の砂浜の先に屏風(びょうぶ)のような岸壁の岬がある。釣見崎(つりみざき)である。岬の南側岸壁にある滝は雨が降るようなので「雨降り滝」といい、釣見崎の北側少し離れたところにある「清水滝」と併せて「夫婦滝」という。夫婦の由来は、清水川は南に流れ雨降り滝からの雨降川と合流し海へと流れる。不思議なことに砂浜がいかに変わろうとも二つの川が必ず合流することから「夫婦滝」といわれた。

附記

- ・大門は城郭や遊郭の正門の意味であるが、子ども達の水遊びの場所であり、七夕磯の入り口なので大門と名付けられたと思われる。現在70代後半の昔の若者にとっては懐かしい「おおもんざき」であろう。鵜島の呼び名がいつのまにか「たこ島」になってしまった。
- ・伊勢崎の中腹にあった「津神社」は現在地に移転したのは近年である。伊勢崎の呼び名は頂上に存在する「天道塚」からの「てんとつか」が会話では使われた。
- ・釣見崎は1950年代までは立派な岬であったが、風化から岬の半分が崩れ去ってしまい昔の面影は失われてしまった。岬の中央下部に波の浸食によって生じた窪み(牛の岩屋)は残存している。
- ・夫婦滝の伝説は昭和20年代後半まで実際に見ることができた。川が流れる砂浜で日曜日ごとに野球をしていた子どもにとっても、二つの川が一つの流れになる不思議を目の当たりにした記憶があるのは事実である。江戸時代一寒村であったこの地の、小さな二つの川の砂浜での不思議を誰が観察していたのかそれも不思議である。



伊勢崎と津神社 (大正期)



釣見崎と雨降川 (大正期)

「神峰神社大祭禮」と「会瀬まつり」晴天の中開催

5月3日4日に新しい年号(令和)のはじめのお祭り会瀬・宮田・助川の総鎮守である神峰神社の大祭禮が7年ごとに実施されました。会瀬も、さらさら、役馬など御神幸渡御に協賛しました。これに合わせ会瀬鹿島神社春季大祭3日(会瀬まつり)さらさら、供馬、子ども神輿、山車の行列がたくさんの見守りの中会瀬学区内を巡行しました。会瀬まつりは、実行委員会を中心に各種団体の協力の中200人を超える隊列が学区内各所で、さらさら舞、子ども神輿、会瀬浜太鼓のお囃子もにぎやかに巡行しました。

- ・役馬(菅原壮太5年)・大獅子(鈴木竣斗中1)
- ・中獅子(関勇海6年)・雌獅子(山口友希6年)・しゃぐま大獅子(関萌愛美2年) 中獅子(助川紫音2年) 雌獅子(鈴木凜2年)の皆さん

